

経営比較分析表（令和2年度決算）

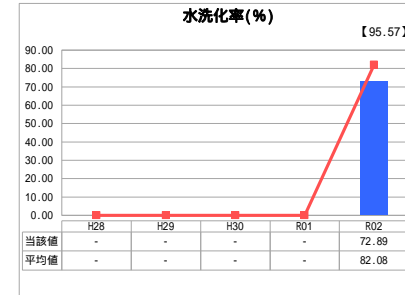
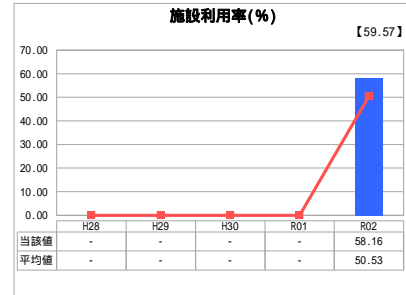
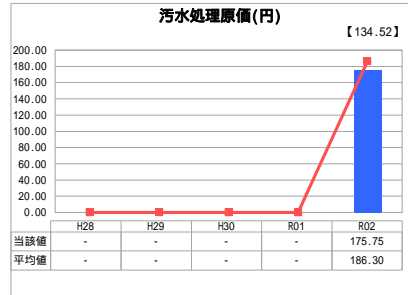
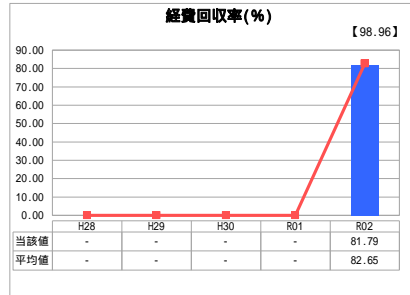
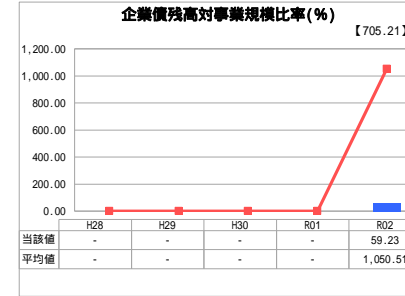
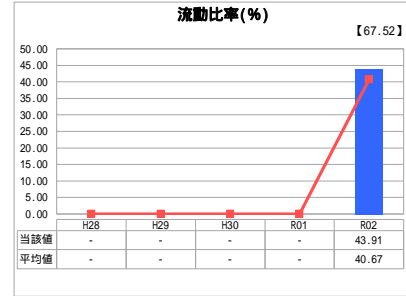
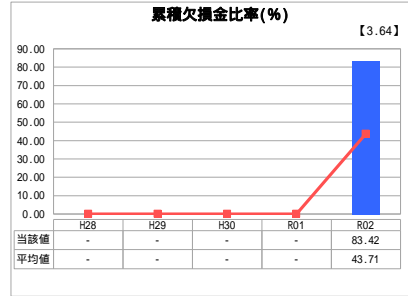
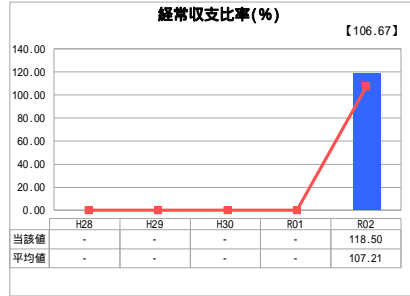
佐賀県 小城市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cc2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	50.31	24.41	97.99	3,020

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
44,953	95.81	469.19
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
10,950	3.29	3,328.27

グラフ凡例
当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

当市の公共下水道について、経常収支比率は100%以上となっているが、経費回収率において81.79%となっており、一般会計からの繰入金等に依存している。

累積欠損金比率については、類似団体より高い値となっているが、令和3年度には解消する見込みである。

また、企業債残高対事業規模比率についても、類似団体と比較して低い状態にあるが、今後未整備地区が多いことや処理場の増設により今後も多大な投資が見込まれるため、投資規模見直しの検討が必要である。

経費回収率については、類似団体より若干低い状態であるが、その要因は水洗化率の低さにある。

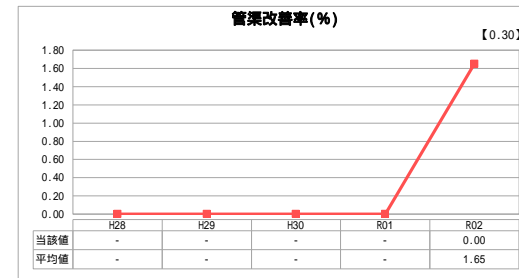
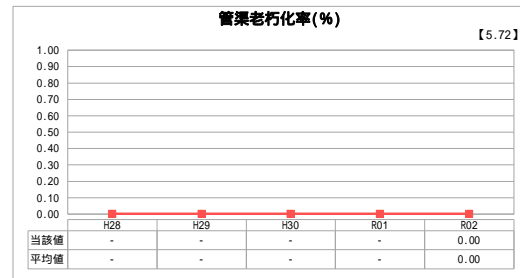
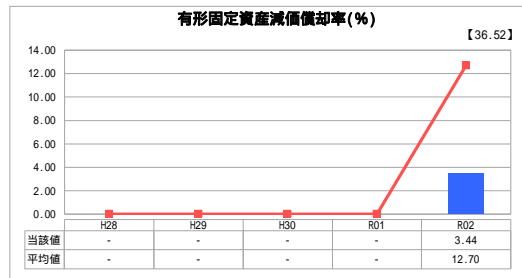
施設利用率については、類似団体より高くなっているものの、水洗化率については、類似団体より低い値となっているが、その要因は未普及対策事業を行っている最中であり、供用開始して間もない区域も多いためである。

今後は、早期接続を行っていただくよう戸別訪問を行い接続率の向上に努める。

2. 老朽化の状況について

公共下水道の供用開始は平成15年3月28日以降となっており、下水道管に法定耐用年数を超えたものはない状況である。

2. 老朽化の状況



全体総括

分析の結果、当市の課題は水洗化率の低さにあると思われる。このため下水道に接続してもらえるように、戸別訪問や、PRを強化する必要がある。

「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。